

No.	部局名	所属	職名	担当等名又は氏名	功績内容	表彰実施(予定)日	備考
1	総合政策部	総合政策課	—	政策企画・地方創生担当	<p>○「新とちぎ未来創造プラン」の策定について</p> <p>[その他顕著な功績] とちぎ創生15戦略と一本化し、栃木県人口未来会議での議論や国の「地方創生に関する総合戦略」も踏まえ、人口減少問題など喫緊の課題に対応する様々な施策を取りまとめた。 また、県内を5地域に分け、優先的な広域的課題を抽出するほか、こども版を作成するなど、新たな要素を取り入れた計画とした。</p>	R8.3.27	
2	総合政策部	デジタル戦略課	—	デジタル社会推進担当	<p>○デジタル社会の形成の推進について</p> <p>[重点事業等への取組] DX推進体制の強化を図るため、総務省の地域社会DX推進パッケージ事業(推進体制構築支援)の活用やUdemy Businessの共同調達モデルの導入などにより、市町DX推進体制の強化を図るとともに、とちぎデジタル戦略の改定やデータ連携基盤の構築に尽力するなど、本県におけるデジタル社会の形成の推進に大きく寄与した。</p>	R8.3.27	
3	総合政策部	広報課	—	広聴担当	<p>○EBPMの実践による県政世論調査における回収率向上について</p> <p>[重点事業等への取組] 毎年実施している県政世論調査において、EBPMの手法を取り入れるなど、調査実施方法に工夫を凝らし、県政世論調査における過去最高の回収率を達成し(74.6%)、県民意見の県政への反映に向けた意見聴取やニーズの把握に成果を上げた。</p>	R8.3.27	
4	総合政策部	広報課	—	プロモーション戦略室	<p>○戦略的なプロモーションの実施について</p> <p>[重点事業等への取組] LINEやYouTubeをはじめとするSNSを活用した各種事業の実施など、戦略的なプロモーションを展開し、SNSの登録者数や閲覧数を大幅に増加させ、本県の魅力発信に大きな成果を収めた。 また、「栃木県ブランディング推進方針」を策定し、今後5年間のブランド力向上における戦略や目指す姿を示した。</p>	R8.3.27	
5	総合政策部	市町村課	—	行政担当	<p>○市町村職員の人材育成・確保に向けた支援の取組について</p> <p>[重点事業等への取組] 県内市町共通の課題である人材育成・確保について、市町村状況調査の実施や関係部署との調整を迅速かつ的確に行い、市町支援策を取りまとめ、今年度改定する県人材育成・確保基本方針に盛り込むとともに、職員採用(人材確保)及び職員研修(人材育成)に係る研修会の開催など、市町のニーズを踏まえた支援を実施し、市町の人材育成・確保に係る取組の推進に貢献した。</p>	R8.3.27	
6	総合政策部	市町村課	—	選挙担当	<p>○第27回参議院議員通常選挙及び第61回衆議院議員総選挙の適正な執行について</p> <p>[公務効率の向上等・その他顕著な功績] 令和7年7月20日執行の参議院議員通常選挙及び令和8年2月8日執行の衆議院議員総選挙において、政党及び立候補予定者説明会などの各種会議の実施、資料作成、立候補届出書等の事前審査、立候補届出の受付、当日の投開票速報、選挙会の実施など、迅速かつ適正に行った。</p>	R8.3.27	
7	総合政策部	地域振興課	—	地域振興・とちぎ暮らし推進担当	<p>○移住・定住の促進について</p> <p>[重点事業等への取組] 子育て世帯や若年女性など、ターゲットを絞った移住・定住の促進に戦略的に取り組むとともに、県内25市町に加え、民間企業、団体が一堂に会した「オールとちぎ移住&amp;しごとフェア」の開催や移住促進コンシェルジュの活用により、相談者のニーズにきめ細かく対応した結果、(公社)ふるさと回帰・移住交流推進機構が実施する移住希望地ランキングで過去最高の第2位を獲得することに貢献した。</p>	R8.3.27	
8	総合政策部	地域振興課	—	地域づくり支援担当	<p>○第41回地域づくり団体全国研修交流会栃木大会の開催について</p> <p>[その他顕著な功績] 「地域づくり団体全国研修交流会」の本県開催に向け、県が事務局となって県内市町に対する協力依頼を行うとともに、新たに地域づくり団体や県内市町で構成する実行委員会を立ち上げ、担当一丸となって、関係機関や団体と緊密な連携を図ることで、初めての開催となる大会の成功に尽力した。</p>	R8.3.27	
9	経営管理部	人事課	主査	佐久間 洋輔	<p>○令和6年能登半島地震に係る被災地への派遣について</p> <p>[緊急、困難事案等への対応] 石川県において、被災地の復旧支援に大きく貢献した。 派遣先:石川県商工労働部経営支援課 派遣期間(1年間) 令和7(2025)年4月1日～令和8(2026)年3月31日</p>	R8.4月	
10	経営管理部	行政改革ICT推進課	—	行政改革担当	<p>○「とちぎ行革プラン2021」の推進及び「栃木県行財政改革大綱2026～2030」の策定について</p> <p>[重点事業等への取組] 最終年度を迎えた「とちぎ行革プラン2021」に関し、全庁を挙げたプラン推進を牽引した。 現大綱の実績を踏まえ、「挑戦」をキーワードとした「栃木県行財政改革大綱2026～2030」を策定し、本県の行財政基盤の確立に道筋をつけた。</p>	R8.3.16	
11	経営管理部	行政改革ICT推進課	—	行政改革担当 情報基盤担当 デジタル行政担当	<p>○庁内グループウェアのMicrosoft365への移行について</p> <p>[公務効率の向上等] 庁内のグループウェアについて、令和7年7月の完全移行に向けて関係職員が一丸となって準備を進め、デスクネットからMicrosoft365への円滑な移行を成し遂げ、業務効率化等に大きく貢献した。</p>	R8.3.16	
12	生活文化スポーツ部	スポーツ振興課	課長補佐 係長 主査 主査 主査	村田 大輔 堀間 美保 杉本 理恵 田村 浩史 小橋 可奈	<p>○東京2025世界陸上競技選手権大会におけるハンガリー選手団事前トレーニングキャンプ誘致・受入れについて</p> <p>[重点事業等への取組/緊急、困難事案等への対応] 令和6年度から標記大会におけるハンガリー選手団の事前キャンプ誘致に取組み、本年5月に同国陸上競技連盟との合意書締結に至った。また、選手団受入れに当たり、同国大使館や関係団体等と連携し、選手団の練習環境の調整のほか、歓迎セレモニーやスポーツ教室、公開練習等を実施し、本県のスポーツ振興等に大きく貢献した。</p>	R8.3.25	
13	生活文化スポーツ部	人権男女共同参画課	—	女性活躍推進担当	<p>○アンコンシャス・バイアス解消に向けた取組の加速化について</p> <p>[重点事業等への取組] アンコンシャス・バイアス解消に向け、「とちぎ人口減少克服宣言」にその重要性を盛り込んだほか、若い世代向け啓発事業やコンテストの実施等を通じて、県全体の課題としての認知向上に寄与した。また、女性活躍推進フェローを配置し、県次期プラン策定及び関係施策への助言並びに次期男女共同参画プランの策定を通じて、アンコンシャス・バイアス解消及び女性活躍推進に大きく貢献した。</p>	R8.3.25	

No.	部局名	所属	職名	担当等名又は氏名	功績内容	表彰実施(予定)日	備考
14	生活文化スポーツ部	博物館	特別研究員	小柳 真弓	<p>〇「特別企画展とちぎ戦後80年～いま、おやと子で知る軍隊・戦争と栃木～」の開催</p> <p>[その他顕著な功績] 博物館で初となる戦争関連の企画展の主担当として、綿密な調査研究を行い、重厚なテーマを分かりやすく展示した。来館者数は29,380人を記録するなど、多くの県民が平和の尊さについて理解を深めたほか、次世代への戦争体験の継承にも大きく貢献した。</p>	R8.3.25	
15	生活文化スポーツ部	統計課	—	—	<p>〇令和7年国勢調査の実施について</p> <p>[重点事業等への取組] 令和7年国勢調査の実施に当たり、国や市町と緊密に連携して調査実施体制を確立するとともに、インターネット回答の促進に向けた多様な広報媒体等でのPRや市町への支援などに職員一丸となって取り組み、調査の円滑かつ効率的な実施に大きく貢献した。</p>	R8.3.25	
16	保健福祉部	保健環境センター	部長 特別研究員 技師	食品薬品部 荒井 久子 長島 朋代 吉野 亜希子	<p>〇大麻草有毒成分分析体制の確立及び県産大麻草の検査実施について</p> <p>[重点事業等への取組] 大麻草の有毒成分の定量分析について、国が示す前処理法と当所の報告を基に分析体制を確立し、県内で栽培された大麻草の有毒成分含量検査を完了した。</p>	R8.3.25	
17	保健福祉部	保健環境センター	主任	水環境部 秋山 貴善	<p>〇有機フッ素化合物の分析体制の構築について</p> <p>[重点事業等への取組] 公共用水域において要監視項目に定められている有機フッ素化合物の分析体制を短期間で構築し、更に、より効率的で精度が高い分析体制に再構築した。</p>	R8.3.25	
18	保健福祉部	医療政策課	主幹	早川 貴裕 地域医療担当	<p>〇日光市足尾地域における医療提供体制の確保に向けた取組について</p> <p>[緊急、困難事案等への対応] 足尾診療所(仮称)の開設に向けて、地元日光市や関係機関とともに、足尾地域の医療提供体制確保に取り組んだ。</p>	R8.3.25	
19	保健福祉部	医療政策課	—	県立病院担当	<p>〇県立病院のあり方検討に関する取組について</p> <p>[重点事業等への取組/緊急、困難事案等への対応] 建物の老朽化や医療ニーズの変化等に対応するため、従前からの懸案であった県立病院の再整備に道筋を付けた。</p>	R8.3.25	
20	保健福祉部	医療政策課	—	看護職員育成担当	<p>〇「看護」の魅力発信に向けた取組について</p> <p>[重点事業等への取組] 来春のNHK朝ドラ「風、薫る」の放映を契機とし、看護協会や関係機関等と連携しながら、看護の魅力発信を行った。</p>	R8.3.25	
21	保健福祉部	衛生福祉大学校	—	事務部学生課	<p>〇入学試験出願手続きの電子申請化について</p> <p>[公務効率の向上等] 入学試験に係る出願手続きを電子申請化することにより、志願者の利便性の向上と入試事務の効率化を図った。</p>	R8.3.25	
22	保健福祉部	高齢対策課	—	恩給援護担当	<p>〇戦後80年の節目に係る追悼式等関連事業及び第12回特別弔慰金支給審査への対応について</p> <p>[重点事業等への取組] 戦後80年に係る追悼行事や語り部事業の実態把握を行うとともに、担当内研修等による特別弔慰金事務の順調な進捗に貢献した。</p>	R8.3.25	
23	保健福祉部	健康増進課	—	難病対策担当	<p>〇小児慢性特定疾病児童等ピアサポーターの養成による家族支援の強化について</p> <p>[重点事業等への取組] 新たに14名の「とちまるピアサポーター」を養成し、その活動を支援することで、小児児童等の家族支援の強化を図ることができた。</p>	R8.3.25	
24	保健福祉部	健康増進課 保健環境センター	—	がん・生活習慣病担当 企画情報部	<p>〇脳卒中発症登録のDX化及び利活用の促進について</p> <p>[公務効率の向上等] 脳卒中発症登録票を電子化するとともに、登録情報利用要領を定めて登録情報の利活用の促進を図り、脳卒中対策の推進に貢献した。</p>	R8.3.25	
25	保健福祉部	健康増進課	—	健康長寿推進班	<p>〇とちぎ健康ポイント事業のリニューアルとちぎ健康づくりロードの利活用について</p> <p>[重点事業等への取組] 健康づくりロードの利活用や市町との連携、利便性の高いシステムの活用などを通じて、運動習慣の定着に向けた環境整備に貢献した。</p>	R8.3.25	
26	保健福祉部	障害福祉課 精神保健福祉センター	—	精神保健福祉担当 教育相談支援課 (相談支援第二チーム)	<p>〇依存症対策に係る取組の推進について</p> <p>[重点事業等への取組] インターネット及びゲーム依存に関する県内実態調査の分析・結果公表や、依存症ポータルサイトを活用した周知啓発事業など、依存症への誤解・偏見のない、誰もが生きやすい社会づくりに貢献した。</p>	R8.3.25	
27	保健福祉部	子ども政策課	—	子育て環境づくり推進担当	<p>〇少子化対策アドバイザーを活用した少子化対策の推進について</p> <p>[重点事業等への取組] 少子化問題に精通した外部人材を少子化対策アドバイザーとして委嘱し、県や市町に対する助言・提案や意見交換の機会を設け取組の推進を図るなど、本県の現状に応じた効果的な施策展開に寄与した。</p>	R8.3.25	
28	保健福祉部	子ども政策課	—	子育て環境づくり推進担当	<p>〇喜びのある子育て推進キャンペーンの展開について</p> <p>[重点事業等への取組] 市町、県内企業等で構成する「とちぎ未来クラブ」主催による「喜びのある子育て推進キャンペーン」を展開し、社会全体で子育てをより前向きに感じられる気運の醸成に大いに貢献した。</p>	R8.3.25	
29	保健福祉部	子ども政策課	—	母子保健担当	<p>〇プレコンセプションケアの推進について</p> <p>[重点事業等への取組] プレコンセプションケアセンターとちぎの開設や啓発動画の制作を通して、性や健康に関する正しい知識を持ってライフデザインを考えながら健康管理を行うプレコンセプションケアの推進に大いに貢献した。</p>	R8.3.25	
30	保健福祉部	中央児童相談所 県南児童相談所 県北児童相談所	—	—	<p>〇一時保護に関する司法審査制度導入に係る取組について</p> <p>[重点事業等への取組] 短期間のうちに迅速かつ確かな調査等を行い、適切に一時保護を請求し、発布を受けたことは、子どもの福祉向上、権利擁護に大きく貢献した。</p>	R8.3.25	

No.	部局名	所属	職名	担当等名又は氏名	功績内容	表彰実施(予定)日	備考
31	保健福祉部	医薬・生活衛生課	—	薬事審査担当 温泉・薬物対策担当	○PIC/S再評価への対応について [その他顕著な功績] 医薬品の国際的査察スキームであるPIC/SによるGMP制度再評価のための現地審査に的確に対応し、本県の薬事審査・監視のレベルの高さを世界に示すことに貢献した。	R8.3.25	
32	保健福祉部	医薬・生活衛生課	—	温泉・薬物対策担当	○覚醒剤取締法等違反事案への捜査対応について [その他顕著な功績] 麻薬取締員として身柄付きの違法薬物捜査に積極的に対応し、覚醒剤の所持等の状態で送致、起訴まで職務を全うし、本県の保健衛生上の危害防止及び被疑者の早期更生に向けて大きく貢献した。	R8.3.25	
33	保健福祉部	食肉衛生検査所	—	管理課 検査第一課 精密検査課 (輸出食肉点検・ 検証メンバー11名)	○輸出食肉認定施設の継続的かつ的確な指導の実施による衛生管理の向上について [重点事業等への取組] 輸出牛肉認定と畜場等への地道で粘り強い指導と信頼性の構築により、衛生管理を改善・向上させ、全国で数少ない査察頻度減免を実現した。	R8.3.25	
34	保健福祉部	国保医療課	—	医療保険担当	○国民健康保険税の収納対策及びマイナ保険証移行への対応について [重点事業等への取組] 検証に基づく効果的な収納対策を推進し、収納率対前年比伸び全国1位を達成するとともに、マイナ保険証移行に係る諸課題に迅速に対応する等、円滑な国保運営を主導した。	R8.3.25	
35	保健福祉部	指導監査課	—	子育て事業担当 法人・障害者事業担当	○デジタルツールを活用した指導監査の導入について [公務効率の向上等] 「Microsoft Forms」や「Zoom」「Teams」での指導・助言を行う「オンライン会議システム」等を書面指導監査に導入し、業務効率化に貢献した。	R8.3.25	
36	保健福祉部	広域健康福祉センター 保健環境センター 感染症対策課	—	健康対策課(感染症予防チーム) 微生物部 企画情報部	○急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの定着・促進について [その他顕著な功績] 感染症対応力の強化に資するARIサーベイランス体制を着実に構築・運用し、県民の安全・安心な暮らしの確保に貢献した。	R8.3.25	
37	保健福祉部	保健福祉課 指導監査課	主査 主査 主任	志鳥 博一 石井 真咲 山崎 亮	○他所属の応援要請への対応について [緊急、困難事案等への対応] 業務逼迫の状況に置かれた他課の業務支援への派遣要請に迅速に対応し、円滑な業務運営に寄与した。 【医療政策課への応援要請対応】 R7.10.3～10.31 保健福祉課 主査 志鳥 博一 【障害福祉課への応援要請対応】 R7.4.19～5.9 指導監査課 主査 石井 真咲 指導監査課 主任 山崎 亮	R8.3.25	
38	保健福祉部	—	—	保健福祉部 債権管理ワーキンググループ	○債権管理の適正化の取組について [重点事業等への取組] 部の長年の懸案であった債権管理業務の適正化に向け、課題の共有やマニュアル作成等を行った。	R8.3.25	
39	環境森林部	環境森林政策課	—	企画調整担当 総務チーム	○県西環境森林事務所の執務環境の改善について [緊急、困難事案等への対応] 施設設備の老朽化や狭小化など劣悪な執務環境が長期間継続している問題に対し、関係部局との協議を主導し調整を行い事務所の集約・移転への道筋をつけた。	R8.3.18	
40	環境森林部	気候変動対策課	—	気候変動適応担当	○家庭における脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた取組について [重点事業等への取組] 専門家が各家庭における省エネ・省CO2対策を提案する「うちエコ診断」について、全国初となる官民が一体となって受診方法や受診後の対応などを相談できる相談窓口を設置し脱炭素行動の実践に向けたサポート体制を構築した。	R8.3.18	
41	環境森林部	環境保全課 県東環境森林事務所 県南環境森林事務所 小山環境管理事務所	—	水環境担当 環境対策課	○有機フッ素化合物(PFAS)の対応について [重点事業等への取組、緊急、困難事案等への対応] 公共用水域等の実態調査を行い県内状況の把握に努めるとともに地下水指針値超過事案に迅速かつ適切に対応した。また、庁内連絡会議を設置して体制を強化するなど、PFAS対応へ大きな成果をあげた。	R8.3.18	
42	環境森林部	自然環境課 県西環境森林事務所 県北環境森林事務所 県南環境森林事務所 林業センター	—	野生生物・鳥獣対策班 環境企画課 研究部(森林)	○鳥獣被害対策について [緊急、困難事案等への対応] クマによる人身被害への対策や、国の制度改革に対応した緊急銃猟の体制構築に尽力した。また、IoT技術では、IoT技術を活用した捕獲強化により、地域の安全確保に大きく貢献した。	R8.3.18	
43	環境森林部	資源循環推進課 県西環境森林事務所 県東環境森林事務所 県北環境森林事務所	—	審査指導班 環境対策課	○廃プラスチック類広域不法投棄事案の対応について [緊急、困難事案等への取組] 県内に広く不法投棄された産業廃棄物を行政代執行により処分し、有害物質による汚染の拡大を防止するとともに、本県の生活環境の保全に寄与した。	R8.3.18	
44	環境森林部	林業木材産業課	—	きのご振興担当	○きのご料理フェアの開催について [重点事業等への取組] 県産きのご消費拡大を目的に、「きのご料理フェア」を新たに企画・開催。県内の著名ホテルなどと連携し、特別メニューの提供を実現することで、県産きのごの魅力を広く発信した。	R8.3.18	
45	環境森林部	森林整備課	—	森づくり担当	○重寶を活用した新たなヤマビル対策手法の推進について [重点事業等への取組、緊急、困難事案等への対応] 簡易で安全かつ安価な手法によるヤマビルの的的防除手法を広く県民に普及啓発し、一般県民の身近な生活環境の改善に寄与した。	R8.3.18	
46	環境森林部	林業大学校	主査	石川 暁	○令和6年能登半島地震に係る被災地復興支援について [緊急、困難事案等への対応] 令和6年能登半島地震の被災地である石川県志賀町において、林道施設の復旧業務に従事し、被災地の復旧支援に大きく貢献した。	R8.3.18	
47	産業労働 観光部	産業政策課	—	次世代産業創造室 産業戦略チーム	○次期産業プランの策定について [重点事業等への取組] 部内各課との連携や中小企業振興審議会での議論を踏まえ、産業振興施策の基本指針となる「次期産業プラン」の策定に取り組み、本県の強みを活かした更なる産業振興施策の推進に顕著な功績をあげた。	R8.3.24	

No.	部局名	所属	職名	担当等名又は氏名	功績内容	表彰実施(予定)日	備考
48	産業労働観光部	工業振興課 産業技術センター	—	ものづくり企業支援室 技術振興チーム	○イノベーションエコシステムプロジェクト支援事業の推進について [重点事業等への取組] 県内中堅・中小企業等の稼ぐ力の向上や持続的発展に向け、令和7年度から東京圏のコミュニティ拠点を活用した企業間交流・連携や、大学シーズとのマッチングを主導的に支援するなど、県内イノベーションの創出・形成に顕著な功績をあげた。	R8.3.24	
49	産業労働観光部	経営支援課	—	金融担当	○「米相互関税等に係る中小企業等支援連絡会議」の設置運営について [緊急、困難事案等への対応] 米関税措置により、本県経済への多大な影響が懸念される中、県内関係機関の連携強化等を目的とした「米相互関税等に係る中小企業等支援連絡会議」を設置し、適切に会議を運営するなど、影響を受ける県内中小企業等の支援に顕著な功績をあげた。	R8.3.24	
50	産業労働観光部	国際経済課	—	国際戦略推進担当	○外国人材の確保・育成など国際情勢への的確な対応について [重点事業等への取組] 急速に変化する国際情勢に的確に対応するため、とちぎ外国人材受入支援センターの設置等により企業における外国人材の確保・育成を積極的に支援したほか、本県の国際化推進の指針となる新とちぎ国際戦略の策定に取り組み、外国人材に選ばれる栃木県の実現に顕著な功績をあげた。	R8.3.24	
51	産業労働観光部	国際経済課 産業政策課 工業振興課 観光交流課	—	地域外交担当 国際戦略推進担当 企業立地班 地域産業担当 インバウンド推進担当	○「ベトナム・台湾におけるとちぎの魅力発信事業」の実施について [重点事業等への取組] 本県と経済交流に関する覚書を締結しているベトナム及び台湾・高雄市において、覚書を再締結するなど政府・行政機関との関係性の強化を図るとともに、本県の魅力・実力の発信等によるインバウンド誘客の促進、県産品・県産農産物の販路拡大や半導体企業等との関係性の構築に向けた知事トップセールスを実施し、本県産業の振興に顕著な功績をあげた。	R8.3.24	
52	産業労働観光部	観光交流課	—	観光地づくり担当	○次期とちぎ観光立県戦略及び新たな誘客手法の策定について [重点事業等への取組] 本県観光の目指すべき将来像等を示した次期とちぎ観光立県戦略の策定に取り組んだほか、戦略に先駆け、ゴルフツーリズムの推進や旬を捉えた新周遊観光コースの作成、県内滞在の長期化を図る取組を推進させるなど、県内観光産業の振興等に顕著な功績をあげた。	R8.3.24	
53	産業労働観光部	労働政策課	—	労働経済・福祉担当	○カスタマーハラスメント防止対策の推進について [重点事業等への取組] 県内の事業者の人格や尊厳を守るとともに、事業者や就業者並びに顧客等の責務等を明記し、県民が一体となって防止対策に取り組む「栃木県カスタマーハラスメント防止対策条例」の制定及び指針の策定等に向け、顕著な功績をあげた。	R8.3.24	
54	産業労働観光部	労働政策課 県央産業技術専門校	—	産業人材育成担当 公共訓練担当チーム 県南産業技術専門校	○次期職業能力開発計画の策定及び職業訓練による外国人支援事業の推進について [重点事業等への取組] 多様な人材の職業訓練やキャリア形成の支援を図る次期職業能力開発計画の策定に取り組んだほか、本計画に先駆け、日本語の支援が必要な定住外国人を対象とした体験講習会を開催するなど、外国人への技能訓練の第一歩に顕著な功績をあげた。	R8.3.24	
55	産業労働観光部	産業技術センター	—	食品技術部	○地域連携による未利用資源の有効活用・高付加価値化について [研究成果等] 需要が乏しく有効活用が求められた吟醸粕の研究を過年度から粘り強く続け、今年度、県内プルフリー等と連携しながら商品化に至ったことから、未利用資源の高付加価値化に資する先導的な事例として本県産業の振興に顕著な功績をあげた。	R8.3.24	
56	産業労働観光部	県央産業技術専門校	教授 助教	訓練第一部(建築設備科) 古沢 和夫 押見 卓	○企業版ふるさと納税の取組について [その他の顕著な功績] 企業訪問から寄附者へのサポートまで企業版ふるさと納税に係る一連の事務処理を整え、多額の寄付を贈るなど、校内各課が積極的に営業活動を行える機運醸成に顕著な功績をあげた。	R8.3.24	
57	農政部	農政課	—	農政戦略推進室	○次期栃木県農業振興計画の策定について [重点事業等への取組] 10年後の本県農業の将来像を描き、今後5年間で取り組むべき担い手の確保や気候変動への適応、スマート農業の推進などの重点戦略等をまとめた「栃木県農業振興計画」を策定した。	R8.3.25	
58	農政部	農政課 経済流通課 経営技術課 芳賀農業振興事務所 下都賀農業振興事務所	—	農政戦略推進室 農業金融担当 担い手育成担当 技術指導班 企画振興部・経営普及部 企画振興部・経営普及部	○9/3及び9/17に発生した農業災害への対応について [緊急、困難事案等への対応] 令和7年9月3日及び17日に発生した突風及び降雹等による農作物等の被害について、速やかに技術対策を周知するとともに、条例を適用したほか、経営再建に向けた支援措置等を講じた。	R8.3.25	
59	農政部	農政課	—	食育・地産地消担当	○とちぎ食と農産物消費フェア2025の開催による県産農産物等の消費拡大と地産地消の理解促進について [重点事業等への取組] 展示商談会の開催によりビジネス機会を創出し、販路開拓・拡大の支援及び県産農産物等の消費拡大に貢献した。また、農業者、食品事業者、県民が一堂に会する地産地消フェアの開催により、県民自らが食や農業を応援し、地産地消を積極的に選択する行動変容の促進に貢献した。	R8.3.25	
60	農政部	河内農業振興事務所	—	農村整備部管理指導課	○土地改良区合併の推進について [重点事業等への取組] ほ場整備事業が完了した土地改良区の合併に向けて、主体的に近隣土地改良区との調整を図り、合併推進協議会において協議を進めた結果、2地区で合併予備契約を締結し、地域農業の持続的発展に大きく貢献した。	R8.3.25	
61	農政部	芳賀農業振興事務所	部長補佐兼課長 副主査 課長 主査 部長補佐(総括)兼課長 主査	経営普及部経営指導課 上田 正人 若樹 睦子 農畜産課 松本 秀一 笹木 俊 沖杉 美穂 いちご園芸課 人見 秀康 山崎 一義	○芳賀地域における第三者継承による新規就農者の確保・育成(酪農・なし)について [重点事業等への取組] 廃業予定の経営体と就農希望者をマッチングし、関係機関が連携して経営開始に向けた支援を行った結果、管内初となる第三者継承が実現し新規就農者の確保につながった。	R8.3.25	

No.	部局名	所属	職名	担当等名又は氏名	功績内容	表彰実施(予定)日	備考
62	農政部	塩谷南那須農業振興事務所	技 師	農村整備部整備課 関 奏絵	〇 <b>掘抜用水堰の複雑な管理・調整による短期間での改修について</b> [重点事業等への取組] 老朽化した掘抜用水堰の改修を、営農への影響、施設の損壊リスク、下流域の防災減災等を考慮し、通常2か年施工とするところ、工事の分割施工など複雑な管理・調整により、8か月施工に短縮を図って予定どおり完成させ、地域農業の持続性確保に大きく貢献した。	R8.3.25	
63	農政部	安足農業振興事務所	部 長 課 長 副主幹(TL) 係 長 主 任 課 長 係長(TL) 部 長 課 長 主 査 技 師 部長補佐兼課長 係 長	スマート農業いちご団地プロジェクト チーム 企画振興部 瀬川 淳一 企画振興部企画調整課 大橋 博行 松本 紀子 飯塚 輝美 島田 紘之 企画振興部振興課 村上 修一 小枝 伸由 経営普及部 岡田 真 経営普及部園芸課 齋藤 容徳 松島 雄大 大垣 怜士 経営普及部経営指導課 青木 礼華 大谷 晴美	〇 <b>所内プロジェクトチームの編成によるスマート農業いちご団地の推進について</b> [重点事業等への取組] JA佐野が策定するスマート農業団地基本構想について、スケジュール調整や各種調整項目の支援を主導的かつ的確に行い、県の承認に導いた。	R8.3.25	
64	農政部	安足農業振興事務所	—	経営普及部 経営指導課・園芸課・農畜産課 企画振興部振興課	〇 <b>農業経営及び地域農業の継続・発展のための支援について</b> [重点事業等への取組] 県内初の「事業承継士と一体となった事業承継計画策定支援」や「SNS活用」、「中山間地域担い手の育成」など今後の継続的な農業経営のための新しい事業(地域農業の継続・発展のための支援)に積極果敢に取り組んだ。	R8.3.25	
65	農政部	農村振興課	主 任	農村環境担当 佐藤 健次郎	〇 <b>能登半島地震における被災地への派遣について</b> [緊急、困難時案等への対応] 令和6年能登半島地震の被災地である石川県穴水町において、農地・農業用施設の災害復旧工事に係る実施設計、工事発注及び現場監督業務等に従事し、復旧・復興に大きく貢献した。	R8.3.25	
66	農政部	経済流通課	—	農産物ブランド推進班 戦略推進チーム	〇 <b>栃木県産農産物統一ロゴマークの作成について</b> [重点事業等への取組] 栃木県産農産物統一ロゴマークを作成し、その活用・普及への道筋をつけ、県産農産物の品目横断的なブランド力向上に大きく寄与した。	R8.3.25	
67	農政部	経済流通課	—	農産物ブランド推進班 輸出促進チーム	〇 <b>県産農産物の輸出促進について</b> [重点事業等への取組] 輸出拡大に取り組み、県産農産物輸出額が過去最高を達成するなど、県産農産物の輸出拡大に大きく貢献したほか、トップセールスの実施、方針の策定などに精力的に取り組んだ。	R8.3.25	
68	農政部	生産振興課	—	いちご野菜担当	〇 <b>いちご生産の発展に向けた取組について</b> [重点事業等への取組] 新たな「いちご王国・栃木」戦略の策定や、スマート農業団地の基本構想の策定、主産県との「全国いちご会議」の開催など、いちご振興の新たな動きを次々と生み出した。	R8.3.25	
69	農政部	生産振興課	—	果樹花き担当	〇 <b>多様な花き振興対策について</b> [重点事業等への取組] 「とぎ花センターのあり方検討」において、将来の県産花き振興の方向性を決定つけたほか、全国最大規模の花の展覧会である「関東東海花の展覧会」や、テレビ媒体の活用効果増大など、県産花きの多彩なPRにより、花きの振興に貢献した。	R8.3.25	
70	県土整備部	監理課	—	企画調整担当	〇 <b>次期県土整備プランの改定について</b> [重点事業等への取組] 次期県土整備プランの改訂にあたり、上位計画である「栃木県次期プラン」内で掲げられている重点戦略との整合を図りながら、庁内関係課の施策との関係や部内関係課との将来的な目標値の設定など、多岐にわたる調整を適切かつ円滑に行った。	R8.3.19	
71	県土整備部	技術管理課	—	作業着リニューアルプロジェクトチーム	〇 <b>作業着リニューアルプロジェクト2025</b> [重点事業等への取組] 技術公務員のイメージアップや職員のモチベーションアップ等を図るため、県土整備部の若手技術職員(主任又は技師)を中心としたプロジェクトチームを結成するとともに、新作作業着制作を実施した。	R8.3.19	
72	県土整備部	技術管理課	主 査 主 査 技 師	津釜 加奈恵 小野 敬之 金本 大輝	〇 <b>能登半島地震等への業務支援</b> [緊急、困難時案等への対応] 能登半島地震等において、被災地復興に向けて公共インフラや公共建築物の工事発注等の業務支援を行った。	R8.3.19	
73	県土整備部	河川課	—	県土防災対策班 事業管理担当	〇 <b>第73回利根川水系連合・総合水防演習の開催</b> [その他顕著な功績等] 令和7年5月17日(土)に宇都宮市道場宿地先、鬼怒川左岸において国土交通省、栃木県、宇都宮市等の主催により実施した。 当日は荒天だったため、荒天時用のプログラムに切り替え、約5,000人の参加者の事故等無く、実践さながらの演習を滞りなく実施することができた。	R8.3.19	
74	県土整備部	大田原土木事務所	—	保全部 業務効率化若手研究会	〇 <b>保全部業務効率化を目的とした若手研究会の取組</b> [公務効率の向上等] 保全部3課の若手職員(主任以下11名)全員で構成する研究会をR7.4月に発足させ、意見交換を実施し、業務の効率化、省力化にむけて検討を行い、実現性の高い業務改善提案を発信することでやすい職場環境の実現に努めた。	R8.3.19	
75	県土整備部	安足土木事務所	—	整備第一課	〇 <b>中橋整備事業における、事業PR及びイメージアップへの取り組みについて</b> [重点事業等への取組] 中橋3連アーチを旧橋から新橋へ移設・継承するとともに、国・県・市・地元・施工業者等の共催による「おかえり、中橋」の開通記念イベントを実施し3,000人超の来場者呼び込むなど事業推進の機運醸成を図った。	R8.3.19	

No.	部局名	所属	職名	担当等名又は氏名	功績内容	表彰実施(予定)日	備考
76	県土整備部	交通政策課 日光土木事務所	—	道路計画担当 企画調査部企画調査課	<p>○令和7年度 秋の行楽シーズンにおける明智平県営駐車場の閉鎖(社会実験)について</p> <p>[重点事業等への取組] 令和7(2025)年度は、新たな取り組みとして、過年度の取組結果から渋滞の先頭と推測された明智平県営駐車場を試験的に閉鎖する社会実験を行った。結果として、バスが通過にかかった時間を今秋の交通量最大日(R7.11.2)と昨年の最大日(R6.11.3)と比較し、午前中には平均で100分以上が短縮され、一定の効果を確認することが出来た。</p>	R8.3.19	
77	県土整備部	栃木土木事務所	—	企画調査課 改良復旧課 保全第二課	<p>○河川整備に係る魅力発信事業「わが町Kawashiruプロジェクト」の企画・実施について</p> <p>[重点事業等への取組] 地元の小中学校の児童・生徒等を対象に、一級河川巴波川の地下排水路等の河川整備事業や防災対策について理解を深めるとともに、建設業の社会的役割や魅力を伝えることを目的として「わが町Kawashiruプロジェクト」を企画・実施した。</p>	R8.3.19	
78	危機管理 防災局	危機管理課	—	災害対策担当 危機・防災情報担当	<p>○孤立可能性集落対策の強化について</p> <p>[重点事業等への取組] 大学と連携し対策が必要な集落の精査を進めるとともに、集落の防災力強化のための補助制度の創設や住民の意識高揚に向けたリーフレットの作成のほか、佐野市と共同で実動訓練を実施し、孤立集落支援の実効性を検証するなど、孤立可能性集落対策の強化に取り組んだ。</p>	R8.3.18	
79	危機管理 防災局	危機管理課	主事 主事	荒井 政紀 吉原 彰	<p>○原子力損害賠償請求(ADR申立て)に向けた対応について</p> <p>[緊急、困難事案等への対応] 対応が先送りされていた案件の精査に自ら進んで着手するとともに、これまでの和解内容や他県事例の研究、必要な証拠書類の洗い出し等を行い、平成30年以來のADR申立てに向けた道筋をつけた。</p>	R8.3.18	
80	危機管理 防災局	消防防災課	—	航空担当 消防救急担当	<p>○岩手県大船渡市の林野火災における災害応急活動について</p> <p>[緊急、困難事案等への対応] 緊急消防援助隊の出動要請を受け、航空小隊として被災地での情報収集や消火活動に従事するとともに、栃木県大隊の派遣に係る編成の調整や交通手段の確保などの後方支援を通じ、平成以降最大の林野火災の鎮圧・鎮火に貢献した。</p>	R8.3.18	
81	会計局	会計管理課	—	業務改革担当	<p>○財務会計事務に係るFAQシステムの導入及び推進について</p> <p>[公務効率の向上等] 財務会計事務に係るFAQ等を一元的に管理した上で、AIを活用して迅速な回答を導くFAQシステムの導入により、全庁における業務の効率化に貢献した。</p>	R8.3.18	
82	会計局	会計管理課	—	業務改革担当 会計管理担当	<p>○名寄せの導入について</p> <p>[重点事業等への取組] 栃木県財務会計システムを迅速に改修し、口座への振込を統合する名寄せを導入したことで、振込件数を約4割減少させ、振込手数料縮減に貢献した。</p>	R8.3.18	
83	会計局	会計管理課	—	物品調達室	<p>○財源確保に向けた取組について</p> <p>[その他顕著な功績] 残存価値のある車両の売却制度を構築するとともに、物品調達に係るポイントプログラムの適正利用を促進する仕組みを整備し、財源の確保に貢献した。</p>	R8.3.18	
84	企業局	経営企画課	—	企画調整担当 企画管理チーム	<p>○「企業局経営戦略2026～2035」の策定</p> <p>[その他顕著な功績等] オールとちぎでのカーボンニュートラル実現やデジタル化の急速な進展への対応といった新たな視点を取り入れながら、今後10年間の事業運営の指針となる「栃木県企業局経営戦略 2026～2035」を策定した。</p>	R8.3.19	
85	企業局	経営企画課	主幹兼課長補佐 副主幹(TL) 係長 技師	小林 恵介 毛利 伸治 村田 寿恵 宮澤 龍生	<p>○とちまるゴルフクラブ(県民ゴルフ場)利用者100万人達成に係る取組</p> <p>[その他顕著な功績等] ゴルフ場利用者100万人達成の記念セレモニーをはじめ、指定管理者や関係機関と緊密に連携しながら記念イベントを実施するなど、ゴルフ場の認知度向上と利用促進に大きな成果を上げた。</p>	R8.3.19	
86	企業局	地域整備課	—	地域整備担当 企業誘導班	<p>○鹿沼インター産業団地の開発完了及び土地引渡し</p> <p>[重点事業等への取組] 産業団地整備にあたり、関係機関ときめ細やかで丁寧な説明のもと協議・調整を行い、開発計画より前倒しにて造成工事を完成させるとともに事業費縮減を実現したほか、企業の意向に寄り添い遅滞なく土地引渡しを完了させた。</p>	R8.3.19	
87	企業局	地域整備課	—	企業誘導班	<p>○「区画パターン選択方式」によるみぶ中泉産業団地の予約分譲案内の実施</p> <p>[重点事業等への取組] 県内の産業用地のストックが不足する中、企業ニーズに的確に対応するため、複数の区画割りパターンから希望区画を選択できる新たな取組である「区画パターン選択方式」による予約分譲案内を壬生町や関係機関と連密な連携や調整により実施した。</p>	R8.3.19	
88	企業局	電気課	課長補佐(GL) 主任 技師	池澤 紀子 小窪 大介 湯上 朋来	<p>○公募型プロポーザル方式による次期売電先の選定</p> <p>[重点事業等への取組] 公募型プロポーザル方式により、事業経営の健全性を確保しつつ、電気の地産地消と地域貢献を実現できる「とちぎふるさと電気」の販売継続提案を採用し、今後の電気事業の推進に大きく寄与した。</p>	R8.3.19	
89	企業局	電気課 今市発電管理事務所 板室管理支所	係長(GL) 技師 主査 主任 主任 技師	田村 浩保 田嶋 拓磨 山本 裕康 福澤 未夢 野口 紘貴 森 啓輔	<p>○水力発電設備の保守管理業務の高度化に向けた取組</p> <p>[研究成果等] 尾尾発電所の水車軸受油面計を対象に、カメラ画像を解析してデジタル値に変換し、今市発電管理事務所へ伝送するシステムを構築した。現場でしか取得できなかったデータの遠隔監視が可能となり、保守管理業務の高度化に貢献した。</p>	R8.3.19	
90	企業局	板室管理支所	主査 技師	渡邊 宏史 森 啓輔	<p>○板室発電所発電機修繕等工事</p> <p>[緊急、困難事案等への対応] 板室発電所において、前例がない発電機の部分破断事故が発生したが、早期復旧に向けて原因の調査や関係機関への対応などに粘り強く取り組み、当初の見込みよりも早期に運転を再開させ、電力の安定供給と料金収入の確保に貢献した。</p>	R8.3.19	

No.	部局名	所属	職名	担当等名又は氏名	功績内容	表彰実施(予定)日	備考
91	議会事務局	総務課 議事課 政策調査課	—	総務担当	○議会運営システム(職場)の更新について [重点事業等への取組] 議会運営システムの更新について、オール事務局体制で音響設備等に係る議場設備を円滑に更新し、将来に向け安定した議会運営の確保に貢献した。	R.8.3.18	
92	議会事務局	総務課	主査 主査	総務担当 岸本 舞 手塚 宏幸	○議員報酬等の支払い業務の見直しについて [公務効率の向上等] 課内において、業務フローの課題等を整理した上で、職員の負担軽減やペーパーレス化からなる対応案を短期間でまとめ、RPA導入を基にした業務効率化や既導入済みアプリとの連携による議員の利便性向上等を着実に進めた。	R.8.3.18	
93	議会事務局	議事課	—	議事担当	○議会運営におけるICT化の着実な推進等について [公務効率の向上等] 委員会におけるオンライン出席について、議員参加の試行等により具体的な課題を把握し、マニュアルの見直しを図ったほか、請願・陳情のオンライン申請や委員会の傍聴資料のペーパーレス化を進めるなど、議会運営のICT化の推進に貢献した。	R.8.3.18	
94	教育委員会	教育政策課 学校安全課 義務教育課 高校教育課 総合教育センター	—	教育DX推進室 政策企画チーム 児童・生徒指導担当 指導担当 指導担当 教育相談部	○「県立教育支援センター」の新設について [重点事業等への取組] 令和7年3月に策定、公表した「栃木県不登校総合対策の方向性」を具体化し、本県の不登校総合対策の拠点となる「県立教育支援センター」を新設して、不登校対策の全体的な推進に貢献した。	R.8.3.25	
95	教育委員会	教育政策課	—	企画調整担当 (総務事務効率化チーム)	○「県立学校総務事務効率化基本方針」の策定について [公務効率の向上等] 「県立学校総務事務効率化基本方針」を策定し、県立学校の事務処理を抜本的に見直すことにより、内部統制機能の強化と行財政運営の一層の効率化を図る方向性を示した。	R.8.3.25	
96	教育委員会	施設課	—	助成担当	○学校施設整備費国庫負担(交付)事業における事務の効率化について [公務効率の向上等] 文部科学省所管の学校施設整備費国庫負担(交付)事業における審査、指導に係る業務について、事務の効率化を推進することにより、公務効率の向上を達成することができた。	R.8.3.25	
97	教育委員会	学校安全課	—	福利室	○県立学校のストレスチェックのオンライン化について [公務効率の向上等] 県立学校で紙媒体により実施してきたストレスチェックをオンライン化したことにより、業務効率化が図られるとともに、受検結果の即時確認が可能となり、職員によるセルフケア促進にも繋がった。	R.8.3.25	
98	教育委員会	高校教育課	—	指導担当	○「学校訪問～Update meeting」の実施について [重点事業等への取組] 各県立高校の更なる魅力化・特色化を図るため、全校を指導主事が訪問し、課題解決のための方策やアイデアを学校と連携しながら共に考える伴走型支援を実施した。	R.8.3.25	
99	教育委員会	健康体育課	—	体力向上・部活動改革担当	○令和7年度全国高等学校総合体育大会第75回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会本県開催について [重点事業等への取組] 9年ぶりに本県開催となる冬季インターハイの成功に向け、県高体連や競技団体等と連携しながら、大会の準備・運営に万全を期し、大会を滞りなく開催することができた。	R.8.3.25	
100	教育委員会	総合教育センター	—	教育相談部	○高校生に対する居場所支援「こころば」の取組について [重点事業等への取組] 来所相談を利用する高校生に対し、教育相談の一環として他者とかわる場を提供し、主体的な活動を支援することで、生徒の社会的自立に向けた第一歩に大きく寄与した。	R.8.3.25	
101	教育委員会	那須教育事務所	管理主事 主任	寺崎 裕史 永峰 一樹	○電子申請システムを活用した期限付採用教職員等の面談予約の実施について [公務効率の向上等] 期限付採用教職員の面談予約にあたり、電子申請システムを活用したことで、大きく公務効率の向上が図られるとともに、利用者側の利便性向上にも繋がった。	R.8.3.25	
102	教育委員会	教育政策課	主任	中井 享平	○第51回衆議院議員総選挙等の適正な執行の支援について [緊急、困難事案等への対応] 令和8年2月8日執行の第51回衆議院議員総選挙及び第27回最高裁判所裁判官国民審査について、総合政策部市町村選挙担当の業務を支援し、迅速かつ適正な実施に貢献した。(R.8.1.23～2.4 9日間)	R.8.3.25	